

琉球大学学術リポジトリ

編集後記

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-08-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲地, 弘善 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/42160

編集後記

この度、『大学教育センター報』第5号として、外部評価について特集を組むことは特別の意味があり、特別な作業であった。

周知のように、大学評価・学位授与機構による外部評価が始まっているが、琉球大学においてはその評価が入る1年前から自主的に外部評価者を委嘱し、外部評価を進めてきた。その成果が本特集号である。センター報とはいっても、これまで4号まで巻を重ねてきたものとは性質が異なる。外部評価を前提とした『自己点検・評価報告書』が挿入されているのもその特徴の一つである。

本センター報の完成は、さまざまな方々の協力の賜である。特に前センター長、仲地博教授の強力なリーダーシップの下、この企画は動いていった。平成13年8月1日をもって、センター長が交替し、センター報の出版が10月となったために、前センター長の業績が幾分薄れてしまうのは誠に残念である。仲地博教授なしには本センター報の完成はありえなかったことを申し添えるとともに、ここに感謝の意を表したい。

また外部評価を行うにあたって、「共通教育等自己点検・評価ワーキング・グループ」を立ち上げたが、そのWG委員長、大膳司教授には献身的に報告書の作成に携わっていただいた。大膳教授はじめWGのメンバー4名の方々が原動力とならなければ、本企画は水泡に帰したことであろう。大膳教授が10月から広島大学へ赴任されることは琉球大学にとって極めて残念なことであるが、大膳教授ならびにWGメンバーに心より感謝をささげたい。

大学教育改善等委員会の委員の方々には、何度も委員会を開催し、調査票の検討から報告書の読み合わせなど、細かい部分まで関わっていただいた。そうした協力のおかげで完成にいたったのである。あらためて謝意を申しあげたい。

4名の外部評価者の方々には、お忙しい中、琉球大学の教育改革のために多くの時間をさいていただきました。その労に報いるためにも、琉球大学は頂戴した貴重なご指摘を真摯に受けとめ、「フォローアップ外部評価」(仮称)や“Professor of the Year”など教育改革に向けて取り組みを進めていくことであろう。心より感謝申しあげるとともに、ご指摘いただいたことは必ずや実施していくことをお約束したい。

最後になるが、本センター報について、大学関係者等さまざまな方面から忌憚のないご批判やご意見をいただければ幸いである。

(大学教育センター長：仲地弘善)